

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【419】
2. 日時：令和5年3月8日 13時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 9A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、  
山浦技術参与

基盤技術グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他11名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当 他1名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（サプレッションチェンバの耐震性及び屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響についての計算書等）について、令和4年11月1日、令和5年1月27日及び3月2日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【サプレッションチェンバの耐震性について】

- サプレッションチェンバ胴の変形のうち胴全体のビーム変形の影響検討について、1セグメントに相当する直管形状と複数セグメントで構成されるトーラスを模擬した形状に対するはりモデルとシェルモデルによる固有値解析結果の比較等により、トーラス形状のはりモデルとシェルモデルの違いによる影響を説明すること。

【屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響について】

- 第1ベントフィルタ格納槽のコンクリートの剛性を実強度とした場合の機器・配管系への影響評価について、簡易評価において条件比率が

設備の裕度を上回った設備に係る影響検討条件を用いた詳細評価の結果及び当該設備の実設計への影響の詳細を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし